

TOYODA

株主の皆様へ

# 第98期 事業報告書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

豊田工機株式会社

## 目次

ごあいさつ	1
営業の概況	2
業績の概況	3
トピックス	4
主な製品紹介	5～6
連結決算	7
単独決算	8
グローバル展開	9
会社の概況	10

## ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

さて、当社第98期（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）の営業の概況などにつきましてご報告申し上げます。

今後とも、引続き変わらぬご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年6月



取締役会長 山田隆哉



取締役社長 横山元彦

## ■営業の概況

### 全体の概況

わが国経済は、年度始めの景気回復の順調な流れも、後半には原油価格の高騰、IT関連の需給悪化などで足踏み状態となり景気の先行きに対する懸念が払拭できないまま推移いたしました。一方、世界経済は米国、欧州、アジアとも概ね順調に拡大を続けてまいりました。

工作機械業界におきましては、国内では、積極的な設備更新や合理化投資への取り組みが、自動車業界のみならず、一般機械、電機・精密業界のデジタル関連需要へと広がり、大企業だけでなく中小企業にも浸透してまいりました。一方海外では、中国を核としたアジア諸国からの旺盛な需要に加え、米国・欧州の設備投資も順調に回復してきており、内外ともに設備投資に対する需要は一層力強さと持続力が感じられるようになりました。その結果、日本工作機械工業会の受注は前期に比べ大幅な増加となりました。

一方、自動車業界におきましては、国内販売は軽自動車が増加したものの、登録車では前半での新型車の投入が少なかったことなどもあり、前期を若干下回りましたが、欧州向けなどの輸出の増加に支えられ国内生産は前期を上回りました。

また、当社と光洋精工株式会社は、対等の立場で合併する旨の合併基本合意書を本年2月に締結いたしました。

このような状況のなかで、当期の連結売上高につきましては、工作機械・メカトロ事業では、前期(737億円)に比べ、20.8%増の890億円になり、自動車部品事業においても、前期(1,425億円)に比べ、8.5%増の1,546億円になりました。この結果、合計の連結売上高は、前期(2,162億円)に比べ、12.7%増の2,437億円になりました。

利益につきましては、売上高の増加と生産の合理化や経費節減のための諸活動に当社グループをあげて積極的に取り組んでまいりました結果、経常利益は、124億7千1百万円(前期68億8千9百万円)を確保しました。また、当期純利益は74億4千2百万円(前期42億8千7百万円)となりました。

### 配当金

当社は、長期にわたり、安定的な経営基盤の確保に努めるとともに配当金につきましても、安定的な配当の継続を基本に、業績および配当性向等を総合的に勘案して、株主の皆様のご期待にお応えしていきたいと考えております。

当期の配当金につきましては、期末配当金を1株につき特別配当の1円を加え、6円とさせていただき、昨年11月の中間配当金1株5円と合わせ、年間の配当金は前期に比べ、1株につき1円増加の11円となりました。

### 今後の見通しと取り組み

今後の経済見通しにつきましては、原油価格の高騰、海外経済や為替の動向等不透明な要素がありますが、米国を中心とした世界経済の堅調さが維持されれば、景気は回復基調に転じ、底堅く推移することが期待されます。

このような環境のなか、当社グループは、世界の人々に新しい価値を提供して、お客様を含めた社会全体の人々の幸福に貢献できる企業であり続けるために、「お客様と社会への限りない貢献を目指して」のスローガンのもと、お客様に信頼される「品質の豊田工機グループ」の基盤強化、お客様への貢献と事業拡大につながる「TOYODA」ブランド力の強化、中期事業計画達成を確かなものにするための収益体質の確立、グローバルなビジネス体制の構築と強化、環境変化に対応した人材育成とマネジメントの強化に、豊田工機グループ一丸となって取り組んでまいります。

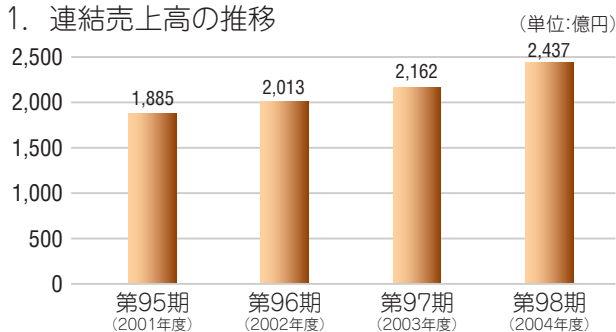
また、地球環境保護の取り組みを積極的に推進していくとともに企業倫理の徹底を図って、国際社会から信頼される企業市民として、企業に課せられた社会的責任を果たしてまいります。

さらに、光洋精工株式会社との合併により、モノづくりの基盤である工作機械事業を有するグローバルな自動車部品事業主体の会社として、顧客に信頼され期待される企業に飛躍、成長することにより、厳しい経営環境に対処し社会の信頼に応えるとともに、新たなビジネスチャンスの創生が可能な企業を目指してまいります。

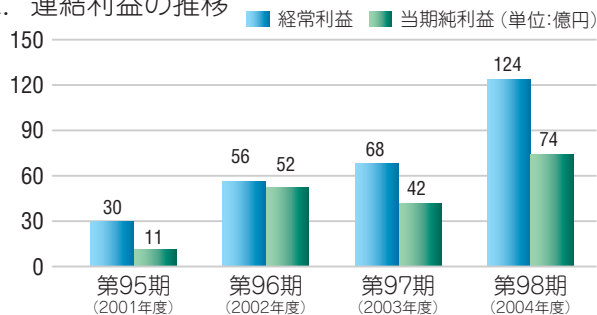
## 業績の概況

### 連結決算

#### 1. 連結売上高の推移



#### 2. 連結利益の推移

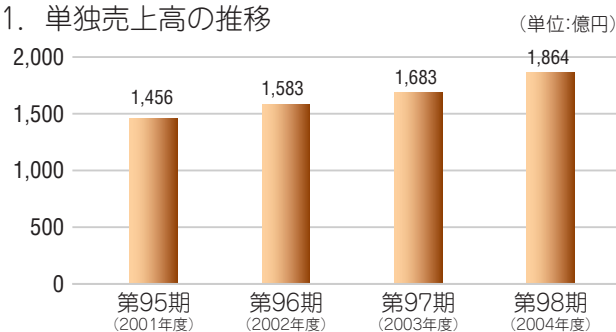


#### 3. 連結子会社および関連会社

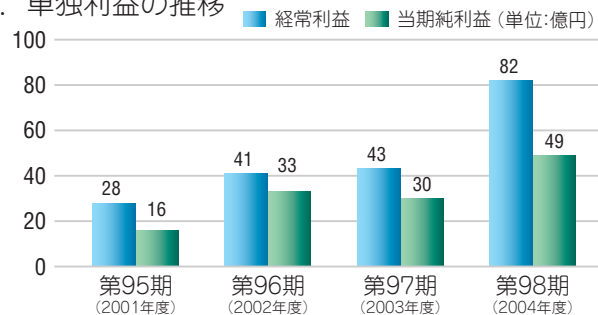
日本……子会社	15社	関連会社	2社
米国……子会社	5社		
欧州……子会社	7社		
タイ……子会社	4社	関連会社	2社
中国……子会社	5社		
その他…子会社	2社	関連会社	3社
子会社合計……	38社		

### 単独決算

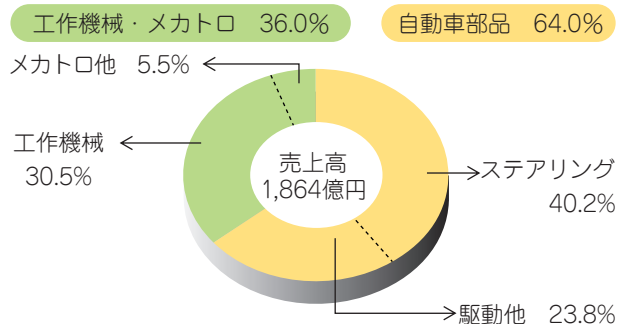
#### 1. 単独売上高の推移



#### 2. 単独利益の推移



#### 3. 単独売上高の構成



## トピックス

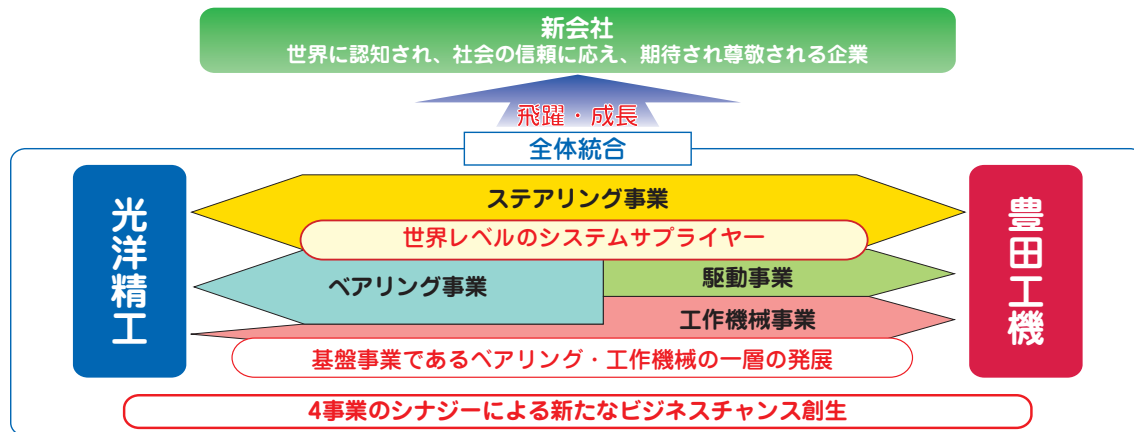
### 光洋精工株式会社と合併（2006年1月予定）

当社と光洋精工株式会社は、本年5月13日に合併契約書を締結し、来年1月1日の合併に向けて準備を進めております。（6月22日の株主総会において承認）

両社が有する幅広い経営資源を結集し、全体統合することにより、ステアリング事業においては、より大きな成果が出せると同時にベアリング・工作機械・駆動の各事業においてもシナジー効果の発揮が可能となります。

また、合併をすることで、モノづくりの基盤である工作機械事業を有する自動車部品事業主体の会社として、顧客に信頼され期待される企業に飛躍、成長することにより、新たなビジネスチャンスの創生が可能となります。

なお、新会社名は「株式会社 ジェイテクト」(英文名：JTEKT Corporation)となります。



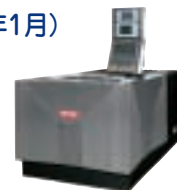
### 新役員制度の導入（2005年6月）

経営基盤のさらなる強化を図るための経営革新を推進する新しい体制として、取締役会をスリム化し、執行役員を新設する新役員制度を導入いたしました。

これは、経営の意思決定ならびに業務執行の一層の迅速化を図るものです。

### 「EG Processor」が 十大新製品賞を受賞（2005年1月）

研削盤の概念を変えた、次世代小型円筒研削盤「EG Processor」が、日刊工業新聞社主催「第47回 十大新製品賞」本賞を受賞いたしました。



### 本社第5工場の拡張（2005年5月竣工）

工作機械の需要増に対応するためにマシニングセンターおよび切削機の標準機組立工場を1.5倍に拡張するとともに、物流改善および組立リードタイム短縮を図り、生産性向上をさせました。

### 花園第2工場の竣工（2004年12月）

グローバルに拡大する電動パワーステアリングや電子システム部品および駆動系部品の増産に対応するため、花園第2工場を新設、2005年1月生産を開始いたしました。

## ■主な製品紹介

### 自動車部品

世界No.1のシステムサプライヤーを目指して、当社グループは今後も技術革新を重ね、自動車の安全・環境・快適性の向上にさらに貢献していきます。

### ステアリング部品

ハンドルを握る全ての人に、ナチュラルで安定感のある心地よい操舵感を提供します。



●油圧パワーステアリングギヤ (R&P式)



●電動パワーステアリング(ラック同軸式)



●パワーステアリングポンプ

### 電子部品

自動車のIT化を見据えた最先端の技術開発を通して、人と地球に優しい次世代の車社会を創造していきます。



●ECU



●ドライブシャフト

●ダンパーブリー



### 駆動部品

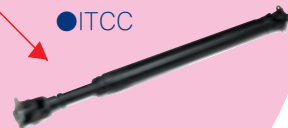
高効率で静粛性に優れ、あらゆるシーンを想定した高い安全性能を発揮します。



●トルセン(Cタイプ)



●ITCC

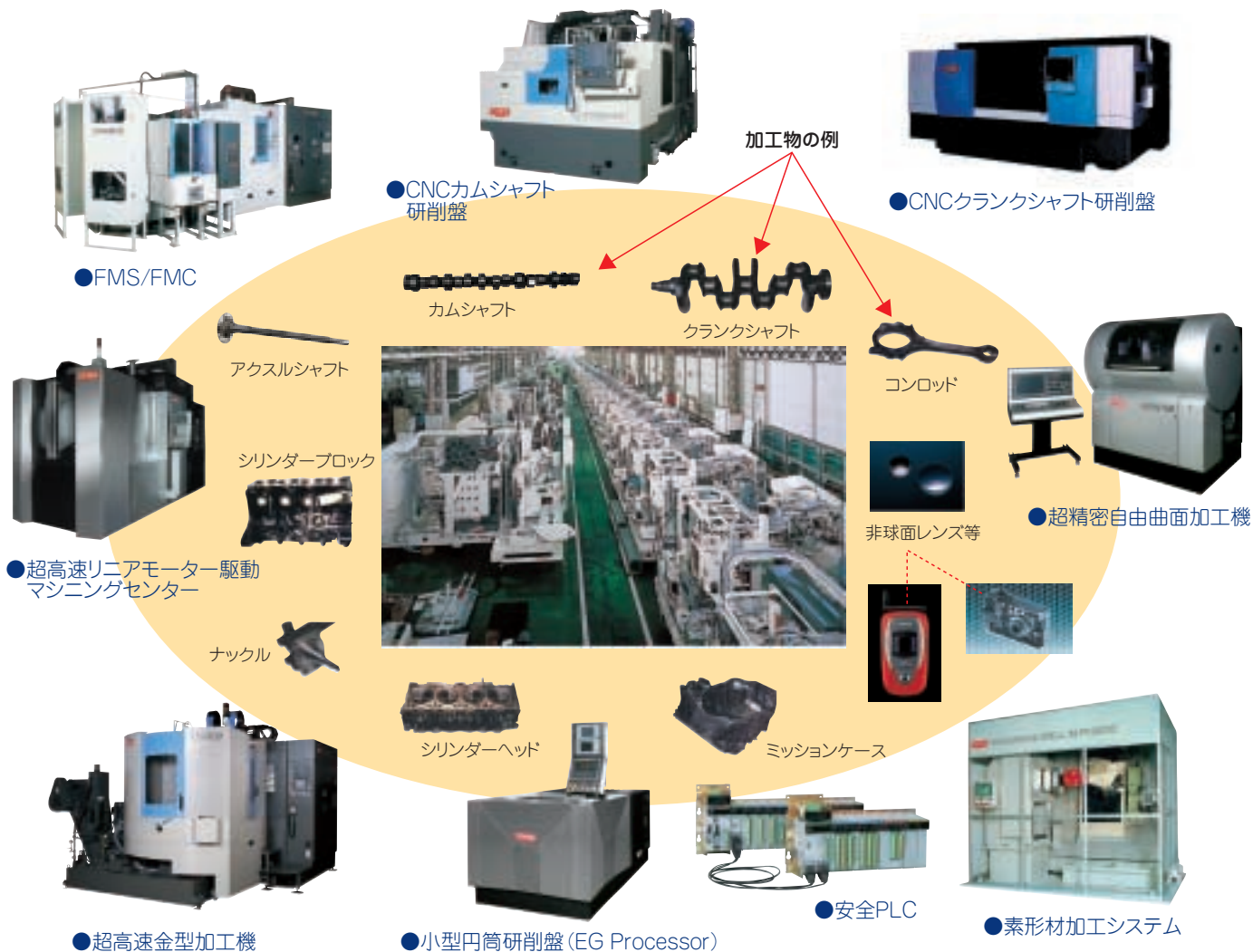


●プロペラシャフト

## ■主な製品紹介

### 工作機械・メカトロ製品

自動車のエンジンおよび足回りの主要部品や電子部品など、金属加工の高精度・超精密のモノづくり改革にトータルソリューションのご提案を行い、お客様の安定した生産と品質を支えています。





## ■連結決算

### 連結貸借対照表

(平成17年3月31日現在)

(百万円未満切り捨て)

科目	金額	科目	金額
<b>(資産の部)</b>	百万円	<b>(負債の部)</b>	百万円
<b>流動資産</b>	<b>109,551</b>	<b>流動負債</b>	<b>93,885</b>
現金及び預金	12,064	支払手形及び買掛金	35,315
受取手形及び売掛金	64,000	短期借入金	9,545
たな卸資産	24,469	1年以内償還社債	20,000
繰延税金資産	4,934	未払法人税等	3,990
その他	4,254	品質保証引当金	961
貸倒引当金	△171	未払費用	13,862
<b>固定資産</b>	<b>162,666</b>	従業員預り金	659
<b>有形固定資産</b>	<b>120,648</b>	その他	9,549
建物及び構築物	24,355	<b>固定負債</b>	<b>52,366</b>
機械装置及び運搬具	53,741	社債	30,000
工具器具備品	3,125	長期借入金	9,135
土地	34,417	繰延税金負債	1,284
建設仮勘定	5,008	退職給付引当金	10,847
<b>無形固定資産</b>	<b>7,224</b>	役員退職慰労引当金	1,099
連結調整勘定	6,974	<b>負債計</b>	<b>146,251</b>
その他	250	(少数株主持分)	
<b>投資その他の資産</b>	<b>34,793</b>	<b>少数株主持分</b>	<b>4,241</b>
投資有価証券	29,710	(資本の部)	
長期貸付金	195	<b>資本金</b>	<b>24,805</b>
繰延税金資産	1,533	<b>資本剰余金</b>	<b>30,120</b>
その他	3,384	<b>利益剰余金</b>	<b>61,819</b>
貸倒引当金	△31	その他有価証券評価差額金	8,203
<b>資産合計</b>	<b>272,218</b>	為替換算調整勘定	△1,455
		<b>自己株式</b>	<b>△1,767</b>
		<b>資本計</b>	<b>121,725</b>
		負債、少数株主持分及び資本合計	272,218

(注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 160,864百万円  
2. 保証債務 730百万円

### 連結損益計算書

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

(百万円未満切り捨て)

科目	金額
	百万円
<b>売上高</b>	<b>243,784</b>
売上原価	200,777
<b>売上総利益</b>	<b>43,007</b>
販売費及び一般管理費	29,598
<b>営業利益</b>	<b>13,409</b>
<b>営業外収益</b>	<b>1,912</b>
受取利息	136
受取配当金	319
その他の営業外収益	1,456
<b>営業外費用</b>	<b>2,850</b>
支払利息	923
その他の営業外費用	1,926
<b>経常利益</b>	<b>12,471</b>
<b>特別損失</b>	<b>904</b>
減損損失	36
役員退職慰労引当金繰入額	868
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>11,566</b>
法人税、住民税及び事業税	5,249
法人税等調整額	△1,403
少数株主利益(減算△)	△278
<b>当期純利益</b>	<b>7,442</b>

(注) 1株当たり当期純利益 55円61銭



## ■単独決算

### 貸借対照表

(平成17年3月31日現在)

科目	金額	科目	金額
	百万円		百万円
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>81,549</b>	<b>流動負債</b>	<b>72,200</b>
現金預金	4,957	支払手形	1,877
受取手形	2,602	買掛金	27,323
売掛金	50,445	1年以内償還社債	20,000
製品	587	未払金	7,181
原材料	894	未払費用	8,669
仕掛品	9,868	未払法人税等	2,976
貯蔵品	1,190	前受金	126
前渡金	2,857	預り金	2,884
繰延税金資産	3,355	品質保証引当金	584
短期貸付金	2,678	従業員預り金	575
未収入金	1,565	<b>固定負債</b>	<b>47,894</b>
その他の流動資産	596	社債	30,000
貸倒引当金	△50	長期借入金	8,000
<b>有形固定資産</b>	<b>152,421</b>	退職給付引当金	8,795
建物	13,976	役員退職慰労引当金	1,099
構築物	1,211	<b>負債計</b>	<b>120,094</b>
機械装置	30,857	<b>(資本の部)</b>	
車両運搬具	192	<b>資本金</b>	<b>24,805</b>
工具器具備品	2,177	<b>本剰余金</b>	<b>30,120</b>
土地	31,897	資本準備金	30,114
建設仮勘定	3,271	その他資本剰余金	5
<b>無形固定資産</b>	<b>165</b>	自己株式処分差益	5
<b>投資その他の資産</b>	<b>68,671</b>	<b>利益剰余金</b>	<b>53,129</b>
投資有価証券	13,914	利益準備金	6,201
関係会社株式・出資金	50,206	任意積立金	41,144
出資金	526	特別償却準備金	16
長期貸付金	187	圧縮記帳積立金	127
繰延税金資産	1,317	別途積立金	41,000
その他の投資	2,519	当期末処分利益	5,783
貸倒引当金	△1	<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>7,572</b>
		<b>自己株式</b>	<b>△1,750</b>
<b>資産合計</b>	<b>233,971</b>	<b>資本計</b>	<b>113,877</b>
		<b>負債資本合計</b>	<b>233,971</b>

- (注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 127,949百万円  
 2. 有形固定資産の圧縮記帳額 288百万円  
 3. 保証債務 10,519百万円

### 損益計算書

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

(百万円未満切り捨て)

科目	金額
	百万円
<b>売上高</b>	<b>186,420</b>
売上原価	160,362
販売費及び一般管理費	18,290
<b>営業利益</b>	<b>7,767</b>
<b>営業外収益</b>	<b>1,912</b>
<b>営業外費用</b>	<b>1,465</b>
<b>経常利益</b>	<b>8,215</b>
<b>特別損失</b>	<b>903</b>
<b>税引前当期純利益</b>	<b>7,312</b>
法人税、住民税及び事業税	3,550
法人税等調整額	△1,201
<b>当期純利益</b>	<b>4,963</b>
前期繰越利益	1,468
中間配当額	648
<b>当期末処分利益</b>	<b>5,783</b>

- (注) 1. 減価償却実施額 7,933百万円  
 2. 1株当たり当期純利益 37円17銭

### 利益処分

(百万円未満切り捨て)

摘要	金額
	百万円
当期末処分利益	5,783
特別償却準備金取崩額	9
圧縮記帳積立金取崩額	3
<b>合計</b>	<b>5,796</b>
これを下記のとおり処分いたします。	
株主配当金	778
1株につき6円	
(普通配当 5円)	
(特別配当 1円)	
取締役賞与金	130
監査役賞与金	15
別途積立金	2,000
次期繰越利益	2,873

- (注) 平成16年11月26日に1株につき5円、総額648百万円の中間配当を実施いたしました。

## ■グローバル展開(主な拠点)

グローバル開発/生産/販売体制の展開により、自動車メーカーを中心としたお客様の世界最速生産にお応えしています。



豊田工機(佛山)自動車部品有  
(中国)  
(設立2004年12月)  
'06/4 パワーステアリング部品の生産開始予定



大連豊田工機創新自動車部品有  
(中国)  
(設立2004年7月)  
'04/12 ダンパーブリーの生産を開始



豊田工機科技中心(大連)有  
(中国)  
(設立2005年3月)  
自動車用電子部品システムの開発・評価



トヨタマシンナリーUSA株  
(USA)  
(設立1995年3月)  
工作機械の製造・販売



トヨタコキオートモーティブ サウスカロライナ株  
(USA)  
(設立2000年4月)  
自動車用駆動部品の製造・販売  
'04/6 ITCCの生産開始



トヨタ ミツイ ヨーロッパ有  
(ドイツ)  
(設立2000年6月)  
工作機械の販売・サービス



トヨタマシンナリー&エンジニアリング  
ヨーロッパ株  
(フランス)  
(設立1993年1月)  
工作機械の販売・サービス



トヨタコキオートモーティブ  
UK株  
(イギリス)  
(設立1997年5月)  
ステアリングの製造・販売  
生産開始 '98/8

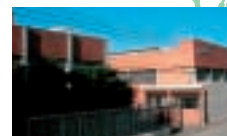


豊田工機(株) 本社工場

- 現地法人
- ★ 当期に設立した現地法人



トヨタコキ オートモーティブ  
ノースアメリカ株  
(USA)  
(設立1989年10月)  
ステアリング用ポンプ・ホースの製造・販売



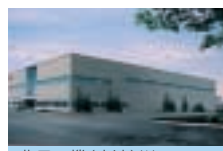
トヨタコキド ブラジル有  
(ブラジル)  
(設立1973年10月)  
工作機械・自動車部品の製造・販売



トヨタコキオートモーティブ  
チェコリパブリック有(チェコ)  
(設立2003年2月)  
自動車部品の製造・販売  
生産開始 '05/1



トヨタマシンワークス(タイランド)株  
(タイ)  
(設立1996年10月)  
ステアリングの製造・販売  
生産開始 '97/6



豊田工機(大連)有  
(中国)  
(設立2003年4月)  
工作機械の製造・販売・サービス  
生産開始 '04/3



豊田工機自動車部品(天津)有  
(中国)  
(設立2003年7月)  
自動車部品の製造・販売  
生産開始 '04/8

## ■会社の概況

### 株式の状況 (平成17年3月31日現在)

#### 1. 株式の総数

発行する株式の総数 …………… 198,550,000株

発行済株式の総数 …………… 132,939,520株

#### 2. 株主数 …………… 10,610名

#### 3. 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
トヨタ自動車株式会社	31,402	24.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	9,758	7.6
株式会社豊田自動織機	9,201	7.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,777	6.8
株式会社デンソー	7,383	5.8
アイシン精機株式会社	3,611	2.8
日本生命保険相互会社	3,524	2.7
株式会社UFJ銀行	2,557	2.0
株式会社三井住友銀行	2,395	1.9
あいおい損害保険株式会社	2,135	1.7

### 会社の概要 (平成17年3月31日現在)

- 設立 昭和16年5月
- 資本金 24,805百万円
- 従業員数 3,878名
- 本社 愛知県刈谷市朝日町1丁目1番地
- 営業所 東京支社、他国内7営業所
- 工場 本社、東刈谷、岡崎、花園、幸田、田戸岬

### 取締役および監査役 (平成17年6月22日現在)

取締役会長	山田隆哉
取締役社長	横山元彦
取締役副社長	安川彰吉
取締役副社長	久保政徳
専務取締役	阿部忠之
常務取締役	鈴木隆昭
常勤監査役	渋木健拓
常勤監査役	杉山雄典
監査役	奥田碩

### 執行役員 (平成17年6月22日現在)

常務執行役員	赤羽仁史
常務執行役員	中村一美
常務執行役員	伊藤寛
常務執行役員	米田孝夫
常務執行役員	西塚勝幸
常務執行役員	安部隆太郎
執行役員	中野次郎
執行役員	平田穂司
執行役員	山本正男
執行役員	柴田拓利
執行役員	廣川博幸
執行役員	貝嶋忠信
執行役員	熊谷哲郎
執行役員	渋川哲郎

### 主な子会社

#### ●国内

名称	所在地	名称	所在地
豊興工業株式会社	愛知県	豊田バンモップス株式会社	愛知県
株式会社CNK	愛知県	フォーミックス株式会社	愛知県
豊ハイテック株式会社	東京都	ジーケーエヌ豊田工機株式会社	愛知県
株式会社豊幸	愛知県	豊田工機トルセン株式会社	埼玉県

#### ●海外

名称	所在地	名称	所在地
トヨタマシナリーユーエスエー株式会社	米国 イリノイ州	トヨタコウキオートモーティブ チェコリパブリック有限会社	チェコ パドゥビツェ市
トヨタマシナリーアンドエンジニアリング ヨーロッパ株式会社	フランス イヴリンヌ県	トヨタコウキオートモーティブ ユーケー株式会社	イギリス ウェールズ州
トヨタミツィヨーロッパ有限会社	ドイツ ケルン州	トヨタコウキオートモーティブトルセン ヨーロッパ株式会社	ベルギー ルッペヴァリエー
トヨタコウキオートモーティブノース アメリカ株式会社	米国 テネシー州	トヨタマシンワークス (タイランド) 株式会社	タイ ラヨーン県
トヨタコウキオートモーティブ サウスカロライナ株式会社	米国 サウスカロライナ州	豊田工機自動車部品(天津) 有限会社	中国 天津市

●連結の従業員数 …………… 7,579名

## 『お客様と社会への限りない貢献を目指して』

- お客様第一、品質最重視
- 変革とクイックレスポンス
- やり貫こう!! 明るく 仲よく 元気よく (YANG-ヤング運動)

## 株式事務のお取り扱いについて

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
配当金受領株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施する時の中間配当金受領株主確定日は、9月30日であります。
証券コード	6206
株式の名義書換 名義書換代理人 同事務取扱所	UFJ信託銀行株式会社 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-232-711
同 取 次 所	UFJ信託銀行株式会社全国各支店 野村證券株式会社本店および全国各支店
公 告 掲 載 方 法	電子公告（当社ホームページ <a href="http://www.toyoda-kouki.co.jp/public">http://www.toyoda-kouki.co.jp/public</a> に掲載いたします。） ただし、事故等で電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上 場 証 券 取 引 所	東京および名古屋の各証券取引所
本 社 所 在 地	〒448-8652 愛知県刈谷市朝日町1丁目1番地 電話 (0566) 25-5111
インターネット・ホームページアドレス	<a href="http://www.toyoda-kouki.co.jp/">http://www.toyoda-kouki.co.jp/</a>

TOYODA MACHINE WORKS, LTD.